



©Nami Adachi

金融仲介機能のベンチマークについて

(基準日:令和6年3月31日)

令和6年6月



東濃信用金庫

金融仲介機能のベンチマークについて

「当金庫の取組み方針」

当金庫は、経営理念に「地元と共にあり、共に栄える」を掲げ、地域と共に自らも成長し発展していくために、お取引先のニーズや課題に応じた、ご融資及び提案に取り組んでいます。

人口減少や事業先減少という縮み傾向の経済が懸念されるなか「金融仲介機能のベンチマーク」を積極的に活用し、地域の成長発展に貢献します。

「金融仲介機能のベンチマークとは」

平成28年9月に、金融機関における金融仲介機能の発揮状況を客観的に評価できる多様な指標として金融庁が策定・公表したものです。これは、『金融機関が、自身の経営理念や事業戦略等にも掲げている金融仲介機能の質を一層高めていくには、自身の取組みの進捗状況や課題等について客観的に自己評価することが重要である』との考えによるものです。

当金庫は、これに自主的に作成した「独自のベンチマーク」を加え、「東濃信用金庫の金融仲介機能のベンチマーク」としました。

ベンチマークの構成

1 共通ベンチマーク

全ての金融機関が金融仲介機能の取組みの進捗状況や課題などを客観的に評価するための指標

2 選択ベンチマーク

各金融機関が自身の事業戦略やビジネスモデルを踏まえ選択できる指標

3 独自のベンチマーク

各金融機関が自己評価するうえで、より相応しい独自の指標

1

共通ベンチマーク

(1)取引先企業の経営改善や成長力の強化

①当金庫をメインバンクとして取引を行っている企業のうち、経営指標等の改善や就業者数の増加が見られた先数

	令和5年3月期	令和6年3月期
メイン先数	4,316先	4,199先
メイン先の融資残高	2,235億円	2,172億円
経営指標が改善した先数	2,172先	2,080先

メイン先とは…

融資残高が1位の先。融資残高順位は、当金庫格付システムまたは自己査定システムから抽出しております。先数はグループベース。

	令和4年3月期	令和5年3月期	令和6年3月期
経営指標が改善した先に係る3年間の事業年度末の融資残高の推移	1,189億円	1,249億円	1,241億円

経営指標の改善とは…

売上高が増加し、且つ営業利益率が上昇した取引先、または、経営指標にかかわらず就業者数が増加した取引先としております。

当金庫をメインバンクとしてお取引頂いているお客さまは4,199先、その融資残高は2,172億円となりました。コロナ禍における緊急避難的な資金需要は収まり、先数・融資残高ともに前期比では減少となりました。しかしながら、お客さまの資金繰り支援等に真摯に向き合うことで、メイン先の内の49.5%のお客さまに経営指標の改善が見られました。“とうしん”は今後も地域のメインバンクとして、地域経済の発展・成長に向けてのお手伝いをしてまいります。

1

共通ベンチマーク

(2)取引先企業の抜本的事業再生等による生産性の向上

②当金庫が貸付条件の変更を行っている先の経営改善計画の進捗状況

	令和5年3月期	令和6年3月期
条件変更先総数	424先	423先
うち好調先	71先	71先
うち順調先	69先	75先
うち不調先	284先	277先

経営改善計画の進捗状況は、計画に対する「売上高」及び「当期利益」の達成率の平均で判定しております。

◆好調先…計画に対する達成率の平均が120%超の先

◆順調先…計画に対する達成率の平均が80～120%の範囲にある先

◆不調先…計画に対する達成率の平均が80%未満の先

当金庫では当初貸付の条件変更申し出があった先で、経営改善計画を策定している取引先の内、34.5%のお取引先の計画が好調・順調に推移しております。アフターコロナ対応策として、事業性評価シート作成による経営支援を継続し、お客さまの資金繰り支援をタイムリーに対応、地域経済の発展に寄与してまいります。

③当金庫が関与した創業、第二創業の件数

	令和5年3月期	令和6年3月期
創業、第二創業の件数	139件	190件
うち創業件数	132件	184件
うち第二創業件数	7件	6件

当金庫が関与した創業、第二創業の件数は190件となりました。当金庫では、信用保証協会や日本政策金融公庫など外部機関・専門家との連携も含め相談・支援体制を強化し創業のお手伝いを積極的に取り組んでおります。創業時の支援に加え、創業後のアフターフォローにも丁寧に取り組み、資金面での支援と本業面での支援を行ってまいります。

1

共通ベンチマーク

(2)取引先企業の抜本的事業再生等による生産性の向上

④ライフステージ別の与信先数及び融資残高（先数：単体ベース）

	令和5年3月期		令和6年3月期	
	与信先数	融資残高	与信先数	融資残高
総数	8,954先	3,518億円	8,718先	3,466億円
創業期	480先	145億円	427先	123億円
成長期	624先	390億円	634先	379億円
安定期	4,021先	2,075億円	3,733先	1,890億円
低迷期	643先	175億円	380先	91億円
再生期	747先	421億円	1,180先	695億円

創業期…創業、第二創業から5年以内の先

成長期…売上高平均で直近2期が過去5期の120%超の先

安定期…売上高平均で直近2期が過去5期の80～120%の先

低迷期…売上高平均で直近2期が過去5期の80%未満の先

再生期…条件変更先または延滞のある先

※総数のうち決算登録が5期連続していない先は上記の計数には含めておりません

当金庫では企業のライフステージに合わせた取引先支援の為、「とうしん地域活力研究所」主体に「創業」から「成長・安定期」に向けた支援を行い、また「低迷・再生期」には、「経営支援部経営支援課」を主体に各部署が協調し様々な取組みを行っております。コロナ渦の影響から再生期の与信先が増加しています。地域中小企業に対する当金庫の役割が大きいことを念頭に、地域経済発展維持のために活動を進めてまいります。

(3)担保・保証依存の融資姿勢からの転換

⑤当金庫が事業性評価に基づく融資を行っている与信先数及び融資残高と全与信先に占める割合（先数：単体ベース）

	令和5年3月期	令和6年3月期
事業性評価に基づく融資を行っている与信先数	1,056先	1,010先
全与信先に占める割合	11.8%	11.6%
事業性評価に基づく融資を行っている先の融資残高	608億円	600億円
全与信先に占める割合	17.3%	17.3%

事業性評価とは…

財務面などの定量的な情報に加え、企業訪問や経営者との対話を通じて定性的な情報・ニーズ・課題を把握し、お取引先の事業内容、持続可能性、成長可能性を評価することです。具体的には、当金庫の評価手法である「事業性評価シート（CCMシート）」を作成した先をいいます。

C…コミュニケーション
C…コンサルテーション
M…マッチング

コロナ禍は終息しつつあるものの依然としてその影響は大きく、引き続きお客さまごとの課題ニーズに合わせた「事業性評価シート（CCMシート）」を作成し、課題解決に向けた事業支援を行います。また、本シートを活用し、課題把握と今後の数値計画を基本に本業支援ができる取組みを行っております。

2 選択ベンチマーク

(1)地域へのコミットメント・地域企業とのリレーション

②メイン取引先数の推移及び全取引先数に占める割合（先数：単体ベース）

	令和5年3月期	令和6年3月期
メイン取引先数	4,901先	4,738先
全取引先数に占める割合	54.7%	54.3%

メイン先の定義は、共通ベンチマーク（1）と同様です。（先数は単体ベース）
全取引先数は、当金庫と融資取引を頂いている法人または個人事業主です。

当金庫をメインバンクとしてお取引いただいているお客さまの先数は4,738先、全取引先数に占める割合は54.3%となりました。コロナ禍で一時的に増加していた融資取引先数は減少となりましたが、引き続き地域で一番に相談できる金融機関として、地域のお客さまと緊密な信頼関係を構築していくことを目指し今後も活動してまいります。

(2)事業性評価に基づく融資等、担保・保証に過度に依存しない融資

⑤事業性評価やローカルベンチマークを提示して対話を行っている取引先数及びうち

労働生産性向上のための対話を行っている取引先

	令和5年3月期	令和6年3月期
事業性評価やローカルベンチマークを示して対話を行っている取引先	1,272先	1,280先
うち労働生産性の向上に資する対話を行っている取引先	505先	545先

事業性評価やローカルベンチマークを示して対話を行っている取引先は1,280先、うち労働生産性の向上に資する対話を行っている取引先は545先と、ともに増加しています。「労働生産性の向上に資する対話を行っている先」の定義は実際の融資実行先を対象としており、事業性評価を軸とした積極的な対話が実績につながっていると考えています。

2 選 択 ベ ン チ マ ー ク

(3)本業(企業価値の向上)支援・企業のライフステージに応じたソリューションの提供

⑯創業支援先数（支援内容別）

	令和 5 年 3 月 期	令和 6 年 3 月 期
創業計画の策定支援	139先	190先
創業期の取引先数への融資（プロパー）	10先	7先
創業期の取引先数への融資（信用保証付き）	90先	84先
政府系金融機関や創業支援機関の紹介	0先	0先
ベンチャー企業への助成金・融資・投資	0先	0先

当金庫が関与した創業、第二創業の件数は190件となりました。当金庫では、信用保証協会や日本政策金融公庫など外部機関・専門家との連携も含め相談・支援体制を強化し創業のお手伝いを積極的に取り組んでおります。創業時の支援に加え、創業後のアフターフォローにも丁寧に取り組み、資金面での支援と本業面での支援を行ってまいります。

⑰販路開拓支援を行った先数

	令和 5 年 3 月 期	令和 6 年 3 月 期
販路開拓支援を行った先数	318先	206先
うち地元（岐阜県、愛知県）	318先	203先
うち地元外（岐阜・愛知以外）	0先	0先
うち海外	0先	3先

令和 5 年度の販路開拓支援先は206先となりました。令和6年度は東海地区の金融機関で連携して、地域や金融機関の垣根を超えたビジネスマッチングサービスなどを提供するプラットフォーム「Big Advance」を活用したオンライン商談会による支援を行う方針です。海外展開については、最近の為替動向もを踏まえつつ、企業の動向に注視し対応してまいります。

2 選 択 ベ ン チ マ ー ク

(3)本業(企業価値の向上)支援・企業のライフステージに応じたソリューションの提供

②1事業継承支援

	令和 5 年 3 月 期	令和 6 年 3 月 期
事業継承支援先数	95先	199先

当金庫では、地域社会の持続的発展に貢献するため、地域を支える中小企業のお取引先やその雇用を守り次世代へ受け継いでいただけるよう円滑な事業継承の実現に取り組んでおります。株式承継支援及びM&Aによる成長支援を中心に対応しております。今後は、令和5年度に事業承継分野を中心とする包括連携協定を締結した岐阜県内営業エリアの17商工団体（8商工会議所、9商工会）との連携強化を進めてまいります。

②2転廃業継承支援

	令和 5 年 3 月 期	令和 6 年 3 月 期
転廃業継承支援先数	0先	0先

地域社会が持続的に発展するためには地域内事業の新陳代謝も必要になります。当金庫では「新事業への挑戦」のほか、「既存事業の終了」支援にも取り組んでおります。事業の新陳代謝を通じ、地域の活性化や持続的成長・発展を支援してまいります。今後も一定数の廃業相談が予想され、引継ぎ支援センター等と連携しつつ第三者承継支援を進めてまいります。

2 選 択 ベ ン チ マ ー ク

(4)迅速なサービスの提供等顧客ニーズに基づいたサービスの提供

③③運転資金に占める短期融資の割合

	令和 5 年 3 月 期	令和 6 年 3 月 期
運転資金額(a)	1,793億円	1,767億円
うち短期融資額(b)	564億円	584億円
割合 (b/a)	31.5%	33.1%

当金庫では短期融資の需要に対して迅速な対応に努めております。令和 5 年度に於いて運転資金額1,767億円のうち短期融資額584億円で短期資金の割合は対前期比1.6%増加しております。今後においても、適正なタイミングで適正なニーズに応じた資金供給ができるよう、短期融資の提供も含めた迅速なサービスの提供に努めてまいります。

(5)他の金融機関および中小企業支援施策との連携

④④取引先の本業支援に関連する中小企業支援策の活用を支援した先数

	令和 5 年 3 月 期	令和 6 年 3 月 期
取引先の本業支援に関連する中小企業支援策の活用を支援した先	50先	16先

コロナ対策として打ち出された事業再構築補助金の一巡もあり支援先数は減少となりました。しかしながら今後は、IT関連、事業承継関連、副業活用関連などの支援にも積極的に取り組むことにより、お取引先の本業支援・課題解決支援体制を強化してまいります。

③ 独自のベンチマーク

(1)美濃焼ブランドづくりの支援件数

	令和 5 年 3 月期	令和 6 年 3 月期
支援件数	26件	17件

『美濃焼ブランドづくりの支援件数』

美濃焼産地の課題検討会及びセラミックバレー協議会6件、土岐市美濃焼PRプロジェクト1件、とうしん美濃陶芸美術館の展示等10件を実施しました。今年度は、美濃焼産地の課題検討会で分けた個別プロジェクトを集約したこと等により支援件数は減少となりましたが、引き続き地場産業支援を継続してまいります。

『多治見駅前・ながせ商店街活性化支援件数』

たじみビジネスプランコンテスト3件、商店街等まちづくり会議4件を実施しました。引き続き、多治見駅前・ながせ商店街等の活性化に繋がる各事業を支援いたします。

(2)多治見駅前・ながせ商店街活性化支援件数

	令和 5 年 3 月期	令和 6 年 3 月期
支援件数	8件	7件

(3)職域セールス契約件数

	令和 5 年 3 月期	令和 6 年 3 月期
契約件数	2,345件	2,454件

当金庫営業地区内事業所の従業員取引の拡大を通じ、事業所の福利厚生支援を行っております。職域セールス契約先用の商品改定を行うなど、職域セールス契約先事業所のサービス向上に努めてまいります。

③ 独自のベンチマーク

(4)金融教育開催回数

	令和5年3月期	令和6年3月期
開催回数	4回	9回

『金融教育』

学生を対象として、お金を通して生計を管理する基礎を身に付け、それを基に将来を見通しながら、自立する力の育成支援を行っています。

『経営者向けセミナー』

NPO向けセミナー2回、人材育成講座2回、Instagram活用連続セミナー2回、自治体と連携した副業人材活用セミナー5回（白川町、土岐市、川辺町、八百津町、富加町）、岐阜プロ拠点セミナー2回、経済倶楽部講演会6回、青年経営者クラブ講演会2回を開催。引き続き、経営者向けに有益となる情報を適宜発信してまいります。

(5)経営者向けセミナー開催回数

	令和5年3月期	令和6年3月期
開催回数	20回	21回

(6)NPO活動・団体の支援件数

	令和5年3月期	令和6年3月期
支援件数	100件	82件

設立支援5件、資金調達支援13件（融資1件、助成金12件）、運営支援36件、クラウドファンディング支援28件を実施しました。今年度は、NPO法人の解散準備や事業承継等の相談対応を始めとした運営相談が増加しました。引き続き、NPO法人の経営相談等の解決に向けた支援を継続してまいります。

③ 独自のベンチマーク

(7)短期資金(手形貸付・当座貸越)の件数

	令和 5 年 3 月期	令和 6 年 3 月期
貸付件数	3,918件	3,823件

(8)短期資金(手形貸付・当座貸越)の融資残高

	令和 5 年 3 月期	令和 6 年 3 月期
貸付金額	526億円	547億円

資金繰りの安定化を図るべく運転資金の安定供給に努めています。実質無利子・無担保融資制度を利用した長期資金が増加したことで短期資金需要は一時的に減少しておりましたが、経済正常化の進展とともに短期資金需要も回復してきております。今後においても、お客さまからの資金ニーズに迅速対応し、地域経済への安定的な資金供給に努めてまいります。

(9)経営効率改善や売上増加のための設備投資に係る融資実行件数および融資実行金額

	令和 5 年 3 月期	令和 6 年 3 月期
融資実行件数	58件	40件
うち生産性向上に資する設備投資	5件	7件
融資実行金額	8億円	5億円
うち生産性向上に資する設備投資	0億円	1億円

IoTを含めた経営効率の改善設備や、売上増加のための設備投資資金を対象としております。また、生産性向上に資する設備投資とは、事業者さまの人手不足を補うための機械化等、生産性向上に資する設備投資としております。

令和 5 年度は全体で40件5億円の実行となりました。全体のうち生産性向上に資する設備投資は、7件1億円の実績で件数・金額ともに前年度比増加しました。アフターコロナを見据え生産性向上・経営効率改善に向けた資金需要も高まっており、本業支援・課題解決に資する融資を積極的に対応してまいります